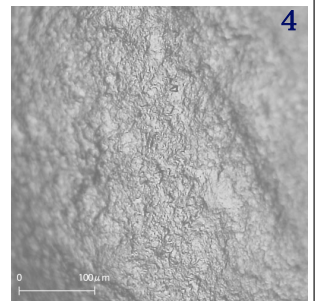
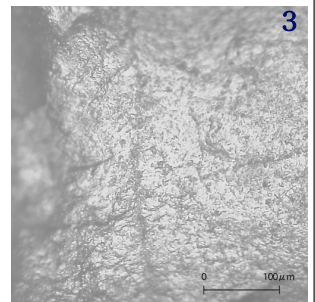
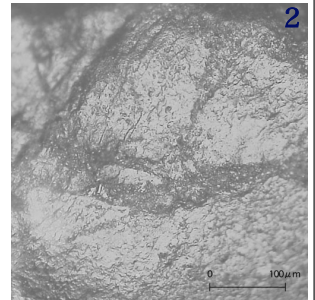
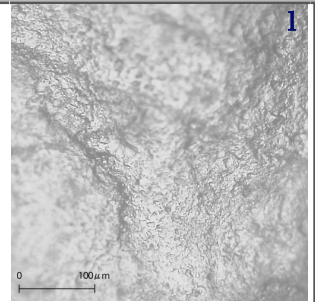
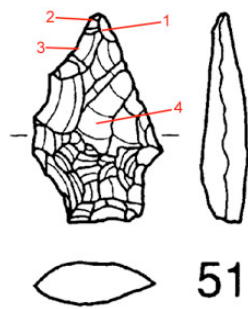




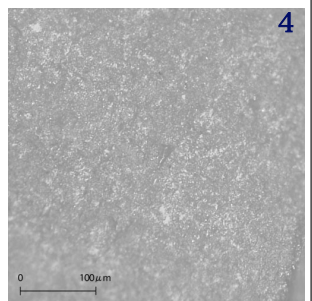
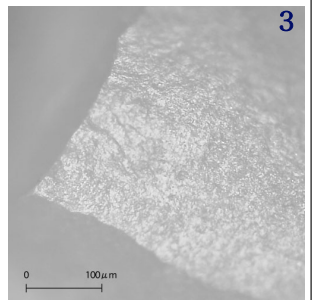
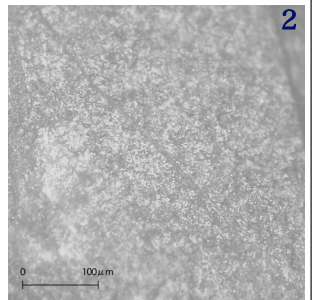
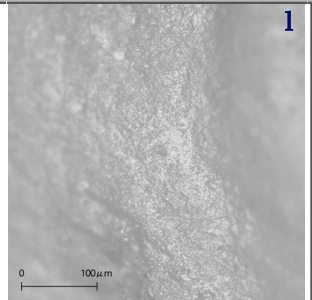
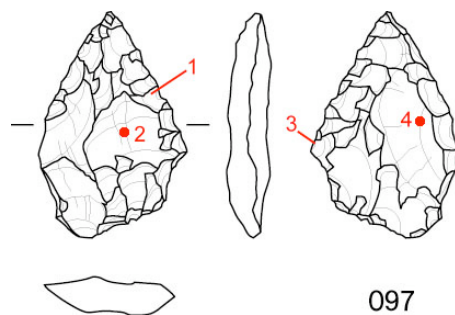
実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】 * 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 不明光沢（光沢は鈍く、編み目状でピットが多数）
- 2 不明光沢（光沢は鈍く、編み目状でピットが多数）
- 3 不明光沢（光沢は鈍く、編み目状でピットが多数）
- 4 不明光沢（表面は凹凸が激しいが1～3のような編み目状のピットはない）

【総合所見】

尖頭部から両側辺にかけて写真1～3のような、編み目状のピットが多数ある光沢が観察されたが石器中央部（写真4）とは違う状況である。尖頭部が使用された可能性があるが、光沢タイプの同定はできなかった。線状痕は、不明瞭である。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

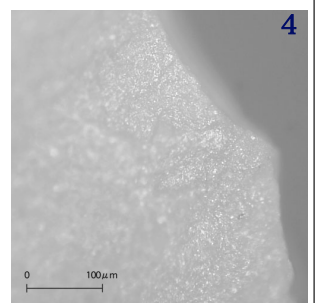
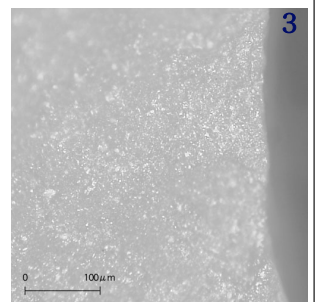
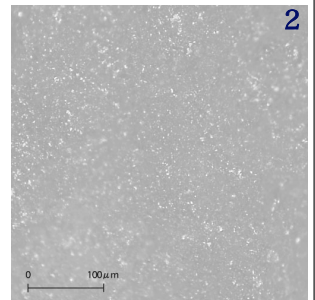
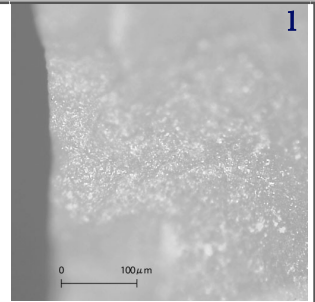
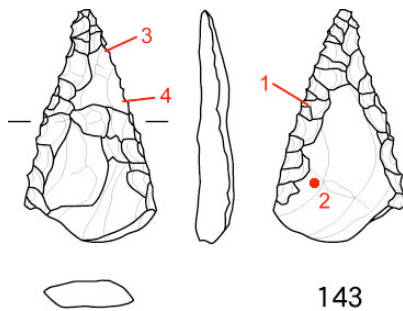
* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 不明光沢（光沢は非常に鈍く、石器表面の凹凸部の凸部に点状に存在する）
- 2 不明光沢（光沢は非常に鈍く、石器表面の凹凸部の凸部に点状に存在する）
- 3 不明光沢（光沢は非常に鈍く、石器表面の凹凸部の凸部に点状に存在する）
- 4 不明光沢（光沢は非常に鈍く、石器表面の凹凸部の凸部に点状に存在する）

【総合所見】

写真1～4は、基本的におなじ光沢であるがそれぞれ光沢の分布密度に差があるが、この石器には石器全面にこのような同じような光沢がみとめられるので、おそらく風化などの要因によるものと思われ、使用痕光沢である可能性は低い。

使用痕光沢であると認定できる光沢は、観察されなかった。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】 * 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

1 不明光沢（微弱で点状に存在）

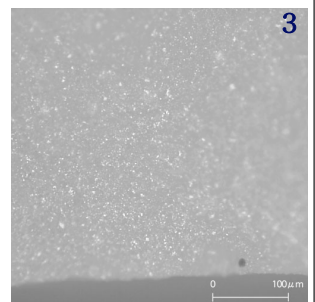
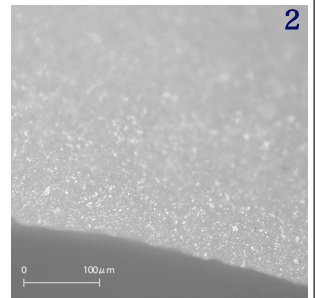
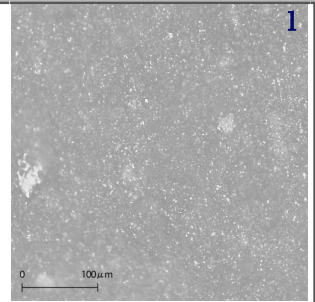
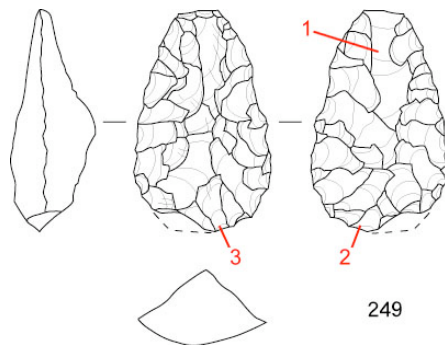
2 不明光沢（微弱で点状に存在）

3 不明光沢（微弱で点状に存在）

4 不明光沢（微弱で点状に存在）

【総合所見】

石器097と同じような光沢である。写真1～4は、おなじような光沢で石器全面に観察される。おそらく風化等の影響によるものと思われ、使用痕光沢である可能性は低い。使用痕光沢であると認定できる光沢は、観察されなかった。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

1 不明光沢（微弱で点状に存在）

2 不明光沢（微弱で点状に存在）

3 不明光沢（微弱で点状に存在）

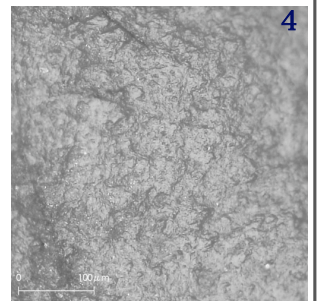
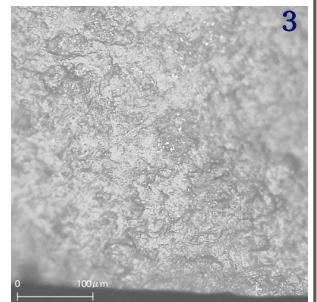
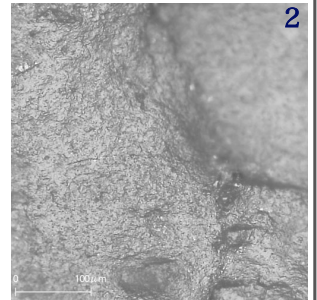
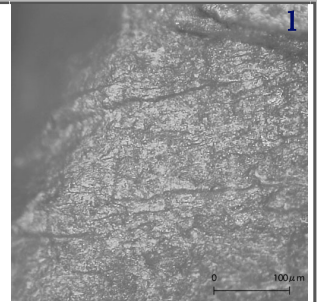
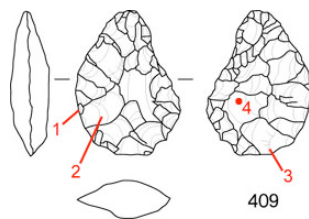
4 不明光沢（微弱で点状に存在）

【総合所見】

石器143とほとんど同じ光沢である。光沢なしとっていい状況である。

写真1～4は、同じような光沢で石器全面に観察される。おそらく風化等の影響によるものと思われる、使用痕光沢である可能性は低い。

使用痕光沢であると認定できる光沢は、観察されなかった。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

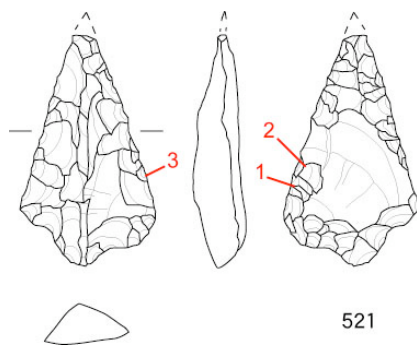
* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 不明光沢（光沢は鈍く、光沢面に微細な凹凸がある）
- 2 不明光沢（光沢は鈍く、光沢面に微細な凹凸がある）
- 3 不明光沢（光沢は鈍く、光沢面に微細な凹凸がある）
- 4 不明光沢（光沢は鈍く、光沢面に微細な凹凸がある）

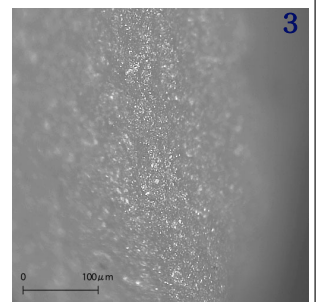
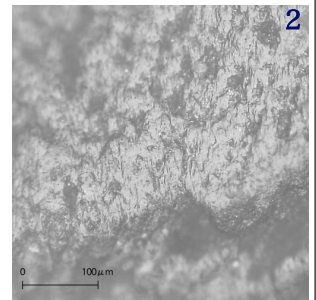
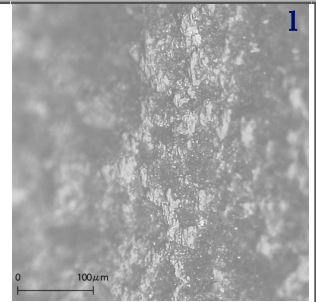
【総合所見】

写真1～4は、基本的に同じ光沢であり、このような光沢は石器全面に観察される。このことから風化などの影響によるものと思われる。

石器縁辺から内部にいたるまで明瞭な使用痕光沢は観察されない。



521



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】 * 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

1 不明光沢（光沢は鈍く、光沢表面は凹凸が激しく線状痕が明瞭）

2 不明光沢（光沢は鈍く、光沢表面は凹凸が激しく線状痕が明瞭）

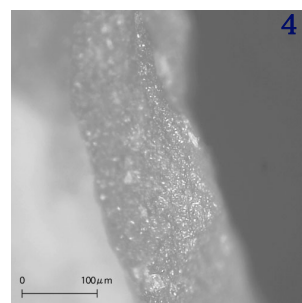
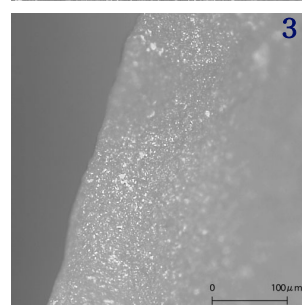
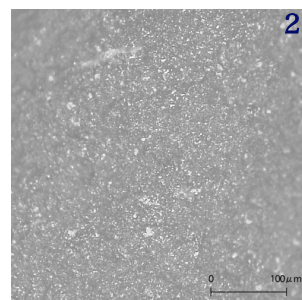
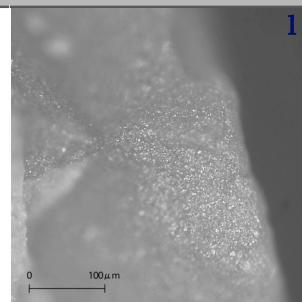
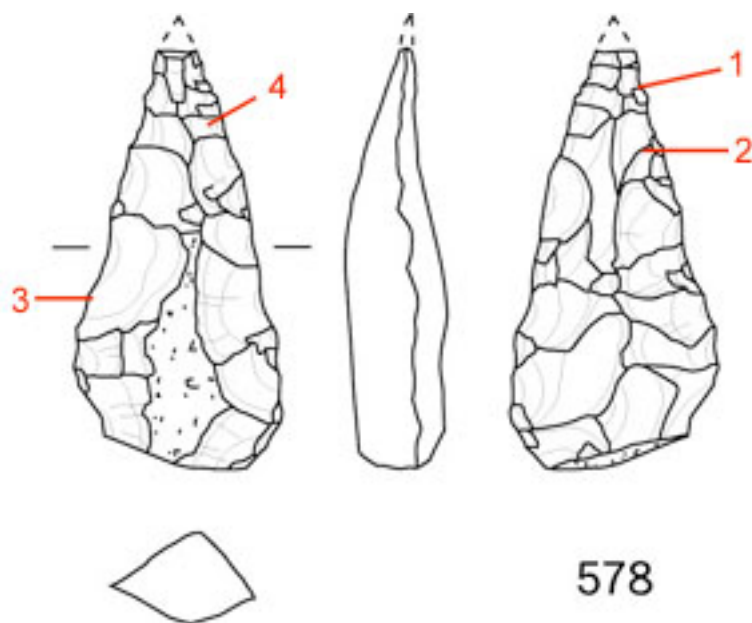
3 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

4

【総合所見】

写真1～2は、ほとんど同じ光沢で石器縁辺以外の部分にも観察され、使用痕光沢とは考えられない。写真3は側辺の稜上を観察したものであるが、微弱な光沢で点状に観察されるだけである。

使用痕光沢である可能性は低い。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】 * 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

1 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

2 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

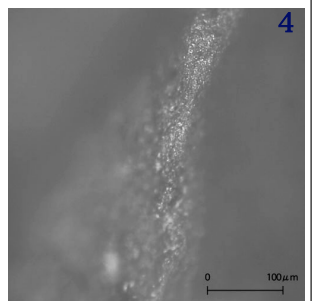
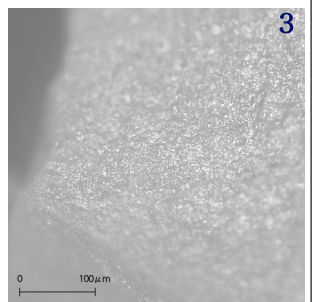
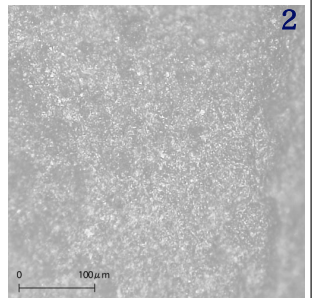
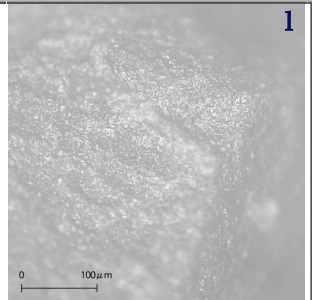
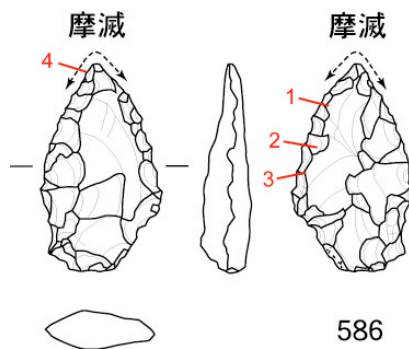
3 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

4 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

【総合所見】

写真1～4はほとんど同じ光沢で石器521の写真3と同じ光沢である。

明瞭な使用痕光沢は観察されない。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

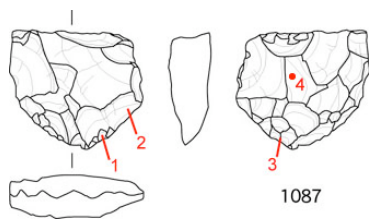
* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 2 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 3 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 4 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

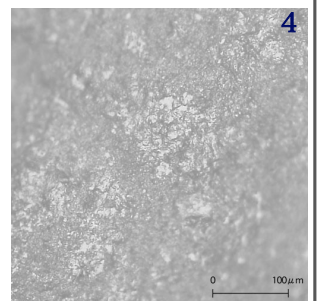
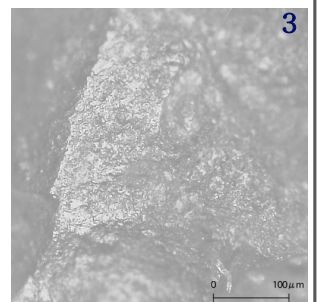
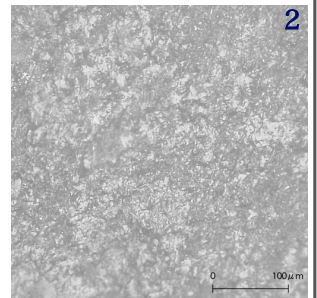
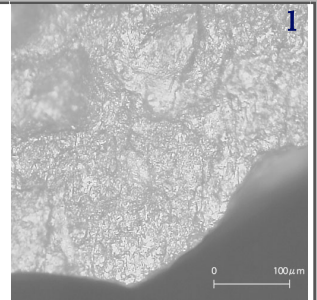
【総合所見】

石器578と同じ光沢であるが、光沢の分布密度がやや高い状況である。

明瞭な使用痕光沢は観察されない。写真4は尖端部の稜上のものであるが、明瞭な使用痕光沢は観察されない。



1087



実測図と使用痕画像の天地は同じ

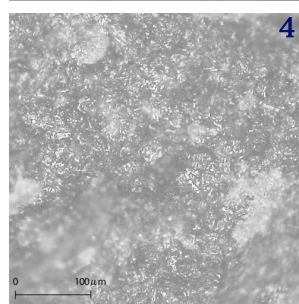
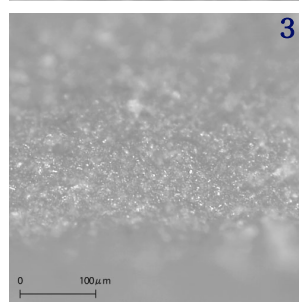
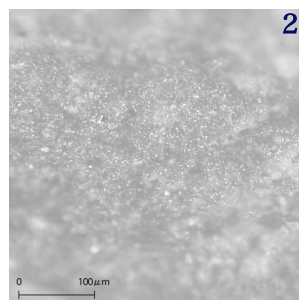
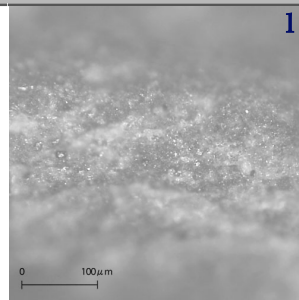
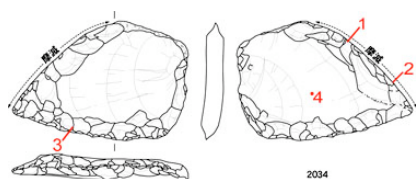
【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 不明光沢（ギラつく光沢で、光沢が平坦な様相をもつ）
- 2 不明光沢（ギラつく光沢で、光沢が平坦な様相をもつ）
- 3 不明光沢（ギラつく光沢で、光沢が平坦な様相をもつ）
- 4 不明光沢（ギラつく光沢で、光沢が平坦な様相をもつ）

【総合所見】

石器全面に写真1～4のような光沢がみられることから、使用痕光沢である可能性は低い、風化などの影響によるものと考えられる。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

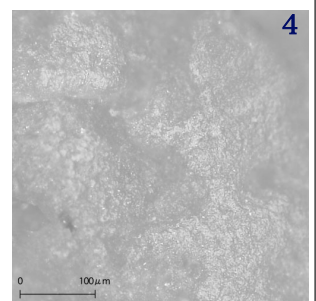
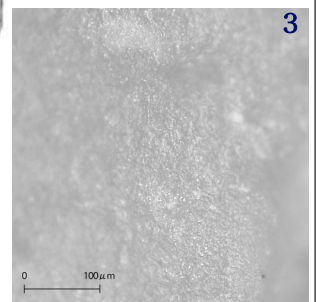
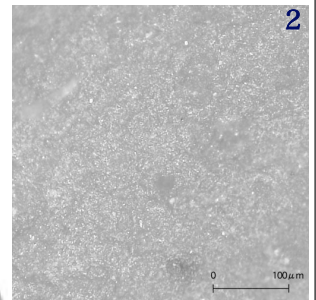
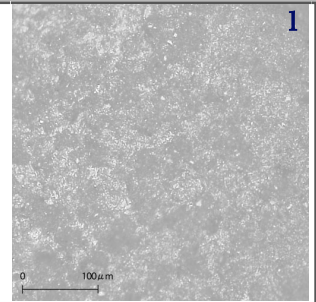
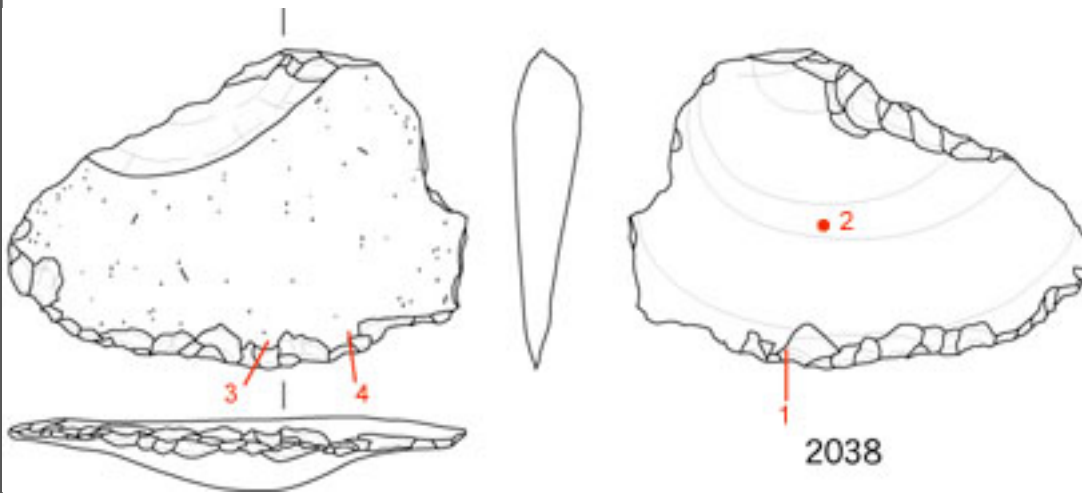
【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 2 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 3 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 4 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

【総合所見】

写真1、2については、摩滅部の稜上を観察したものであるが、使用痕光沢と考えられるものは観察されない。写真3についても同じ状況である。写真4は石器1087の光沢とほとんど同じである。風化などの影響によるものと考えられる。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】 * 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

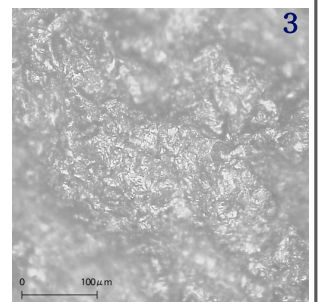
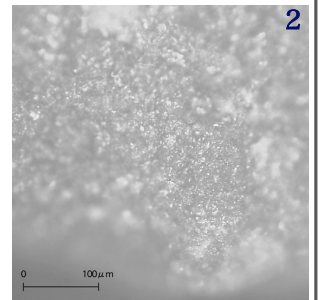
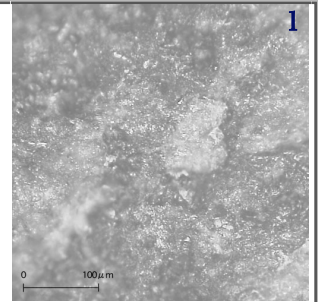
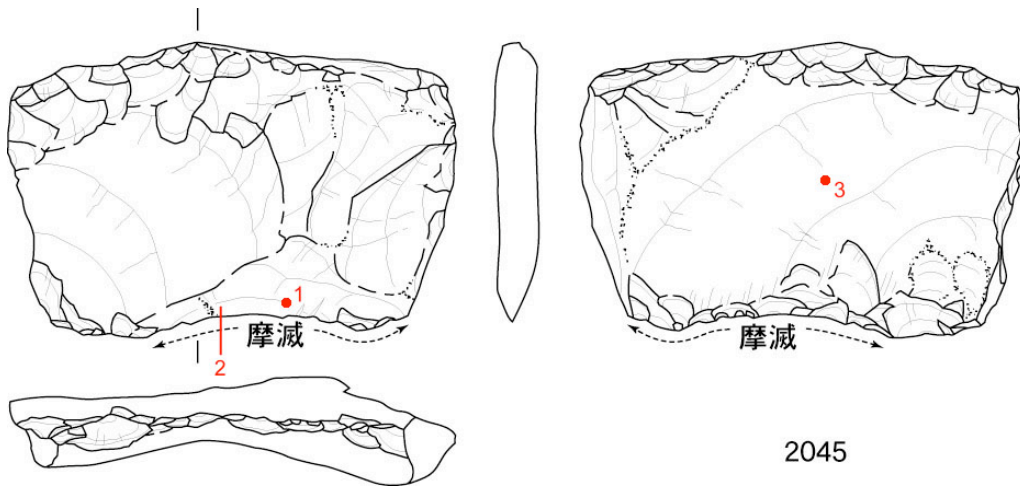
- 1 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 2 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 3 不明光沢（光沢は非常に微弱でコントラストがない）
- 4 不明光沢（光沢は非常に微弱でコントラストがない）

【総合所見】

石器は、微細剥離が発達しているが、使用痕光沢と考えられるものは観察できなかった。

写真1～4は風化などの影響によるものと考えられる。写真3、4については、自然面であり自然摩耗の状況をよく示していると考えられる。

--	--	--



2045

実測図と使用痕画像の天地は同じ

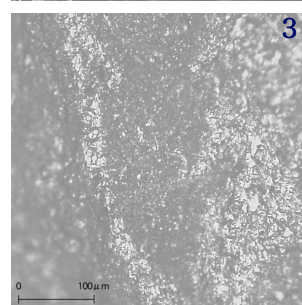
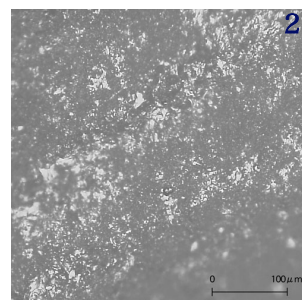
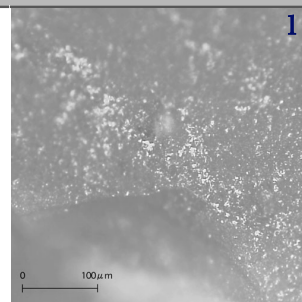
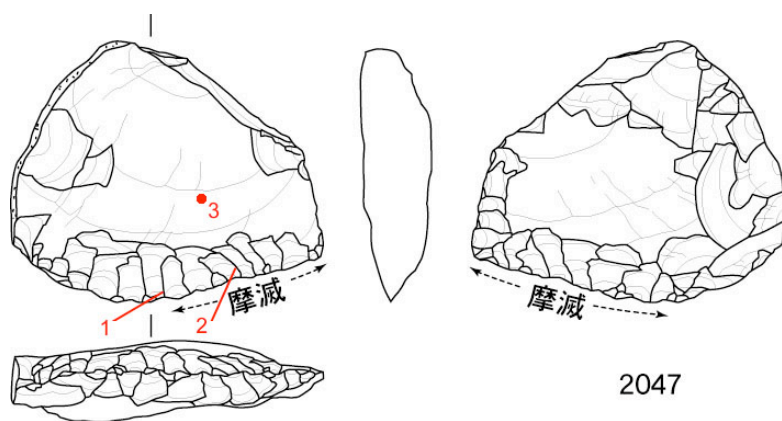
【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在） |
| 2 | 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在） |
| 3 | 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦） |
| 4 | |

【総合所見】

写真1、2は、微弱な光沢で使用痕光沢であるとは認定できない。写真3は石器1087の写真1の状況とよく似ているが、石器の中央部に観察されることから使用痕光沢ではないことは明らかで、風化あるいは石材の結晶質の部分の反射などの影響によるものと考えられる。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

1 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）

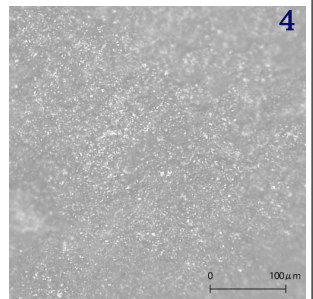
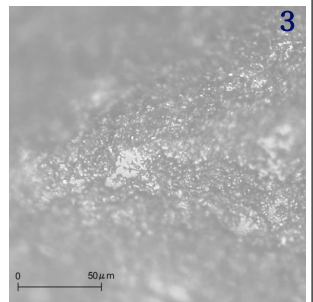
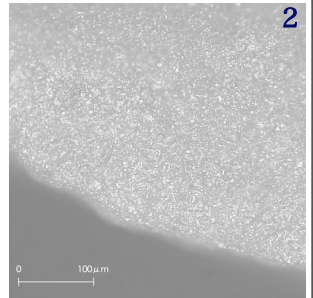
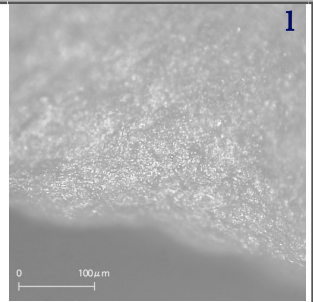
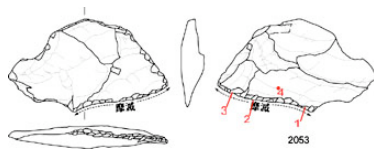
2 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）

3 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）

4

【総合所見】

写真1～3は、ほとんど同じ光沢の様相である。石器1087の写真1ともよく似ている。このような光沢が石器全面に観察されることから使用痕光沢ではないと考えられる。風化などの影響によるものと思われる。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】 * 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

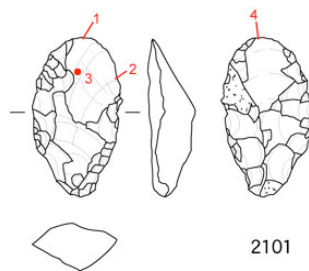
- 1 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 2 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 3 不明光沢（おそらくブライトスポットと考えられる）
- 4 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

【総合所見】

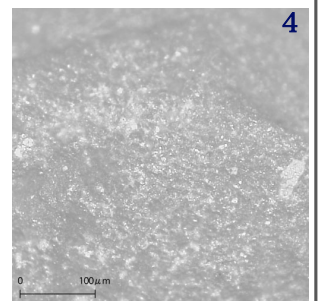
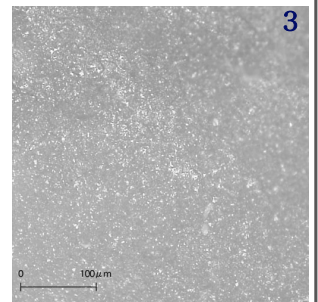
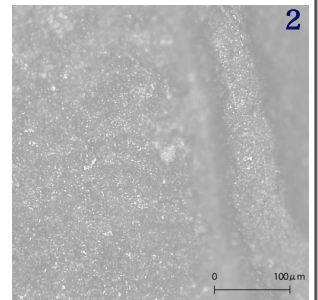
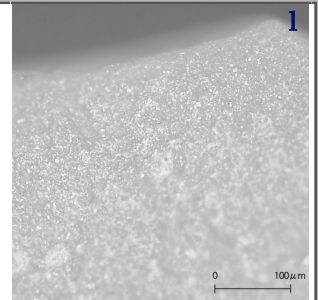
石器は、縁辺に微細剥離が発達しているが、明瞭な使用痕光沢は観察されない。

写真1、2は微弱な光沢であるが写真4とは明らかに光沢の分布密度が高い。これは、使用痕光沢の未発達段階と考えられるかもしれない。

写真3はごく限られた範囲にしか観察されず、Bタイプにしては平坦すぎるのでいわゆる輝斑（ブライトスポット）と考えられる。事故的な光沢と考えたほうが良いと思われる。



2101



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

1 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

2 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

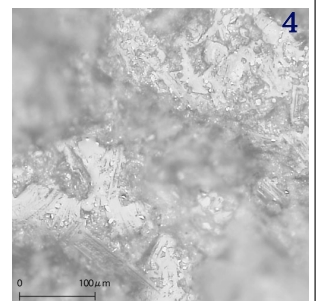
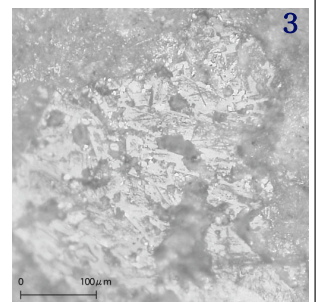
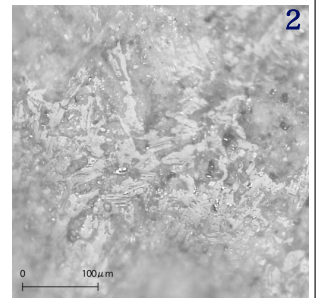
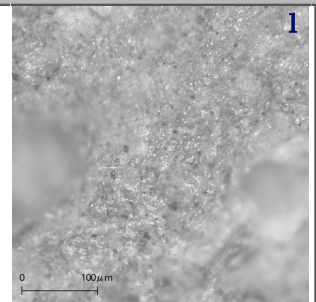
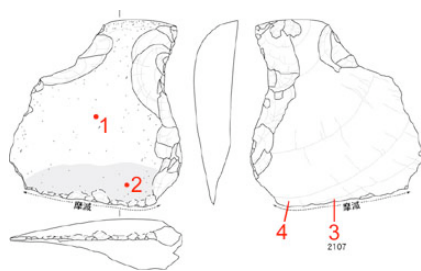
3 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

4 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）

【総合所見】

石器には明瞭な使用痕光沢は観察されない。

写真1～4はほとんど同じ光沢であり、このような光沢が石器全面に観察されることから風化などの影響によるものと考えられる。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

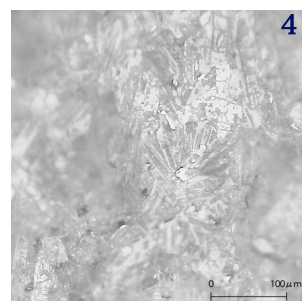
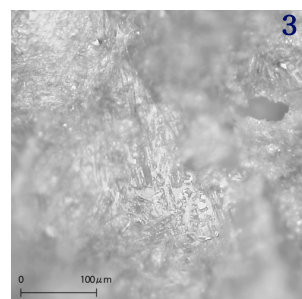
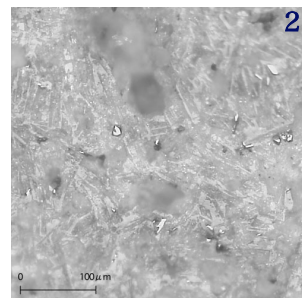
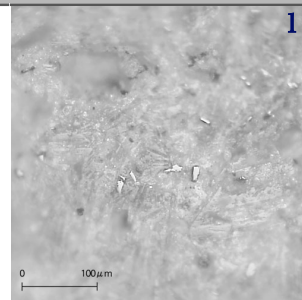
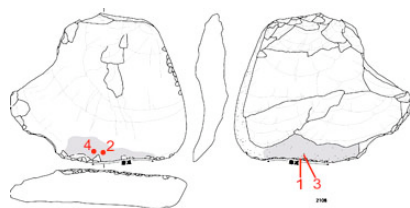
- 1 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 2 AタイプかBタイプが風化により、荒れてたもの
- 3 AタイプかBタイプが風化により、荒れてたもの
- 4 AタイプかBタイプが風化により、荒れてたもの

【総合所見】

刃部には、肉眼でも観察される使用痕光沢が見られるが、高倍率で観察すると光沢面は風化などの影響によりかなり損傷を受けている。

比較的良好に残っているのは、写真4である。

写真1は、使用痕光沢がない部分で、観察される微弱な光沢は風化あるいは石材の結晶質の反射などの影響によるものと考えられる。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

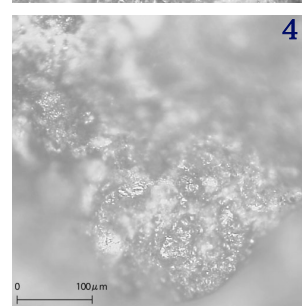
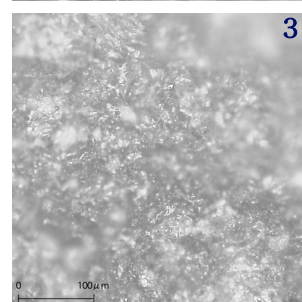
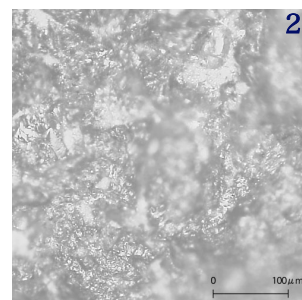
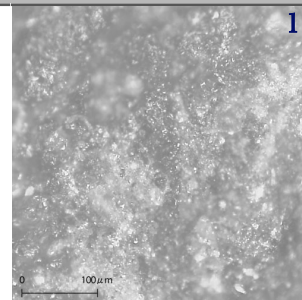
* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 AタイプかBタイプが風化により、荒れてたもの
- 2 AタイプかBタイプが風化により、荒れてたもの
- 3 AタイプかBタイプが風化により、荒れてたもの
- 4 AタイプかBタイプが風化により、荒れてたもの

【総合所見】

石器2107と同じ状況である。

石材のなかで風化の影響を受けにくい結晶のところが比較的本来の使用痕光沢の特徴をよく残しているのがわかる。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

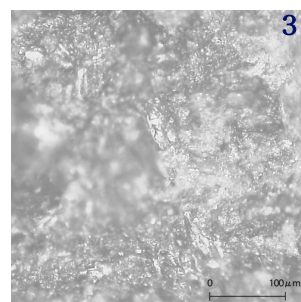
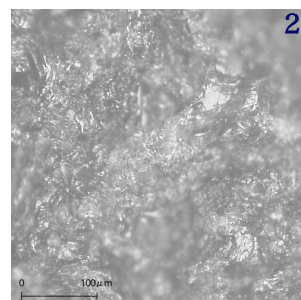
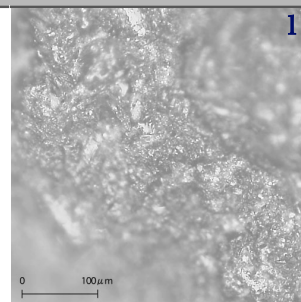
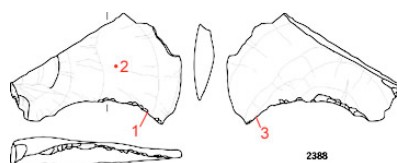
【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 不明光沢（光沢は微弱で点状に存在）
- 2 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）
- 3 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）
- 4 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）

【総合所見】

石器には、明瞭な使用痕光沢は観察されない。写真1～4も風化あるいは石材の結晶部分の反射と考えられる。



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

1 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）

2 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）

3 不明光沢（ギラつく光沢で光沢面が比較的平坦）

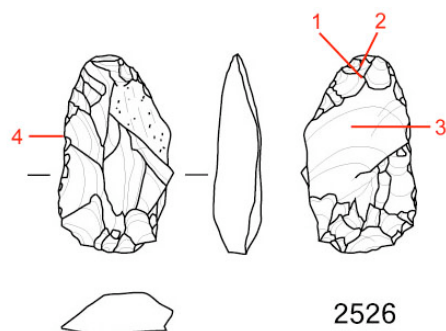
4

【総合所見】

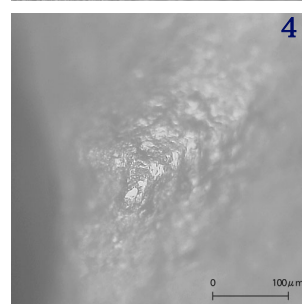
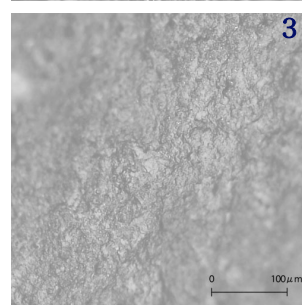
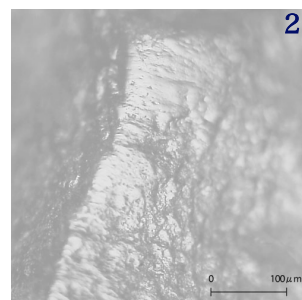
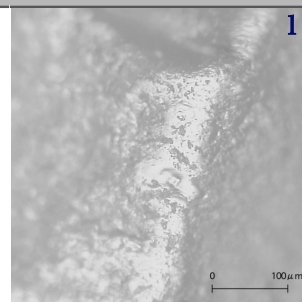
石器は、明瞭な使用痕光沢は観察されない。石器2225とほとんど同じ状況である。

写真1～3も風化あるいは石材の結晶部分の反射と考えられる。

微細剥離が見られる部分はガジリの部分があるので注意が必要である。



2526



実測図と使用痕画像の天地は同じ

【使用痕の特徴】

* 使用痕画像をクリックすると拡大表示します

- 1 Dタイプ（剥離面の稜上にあり、線状痕が明瞭である）
- 2 Dタイプ（剥離面の稜上にあり、線状痕が明瞭である）
- 3 不明光沢（写真1、2とは明らかに違い表面凹凸が激しく、光沢は鈍い）
- 4 Dタイプ（剥離面の稜上にある）

【総合所見】

石器の主要剥離面側の先端部にDタイプの使用痕光沢が観察される。線状痕が明瞭で石器を図面の位置で横方向に動かしたと思われる。